

# 多久に誓う

## 2015年を振り返って

去年の12月の衆議院選挙の解散を皮切りに年頭の佐賀県知事選・県議選・市議会選挙とわずか5か月の間に4回も選挙が続きました。

私たち議員は4年に一度、市民の皆さんからの負託をどういった形でいただくのか、期待を持っていたわけですが、あいにく無投票という大変残念な結果でした。気を引きしめて、さらに多久市の発展のために取り組んでいかなければ強い思いでスタートしました。

多久の玄関口となる「あいばれつと」を活用した賑わい創出が定着してきました。多久まつりを昨年から「あいばれつと」で行っていますが、秋菜との相乗効果で両会場とも多くの人で盛り上がりました。町づくりの観点からいくと、国道203号線の旧ボーリング場の跡地に福祉施設が建ち、景観としても明るくなり、いい活力に繋がっているのではないかと思っています。



## 改めて思う多久の魅力

一つは長崎自動車道・多久インターの環境です。例えば高速道路から出た所に、道の駅を作れば、賑わいが生まれ、市にメリットも出てくるのではないかと思います。また、県の中央にあることで企業誘致にも繋がっていきそうです。

二つ目は団結の良さだと思います。昭和23年に始まった多久山笠は今年で68回目を数えますが、2日間で2万人ほどが集います。一時は多久祭と一緒にやろうという意見もありましたが、山笠は子ども達の夏休み期間中の思い出として行う行事です。また昨年は若い人達が中心となって、佐賀の栄の国のパレードに提灯山が参加して「多久市ここにあり」とPRしてくれました。

皆が多久を盛り上げるためにがんばろう、と団結の良さは素晴らしい魅力だと思います。



## 2016年はどんな年になると思いますか？



今年の干支のさるは、家族愛、家族を大事にする動物とされています。我々も市民のみなさんが安心して暮らしていただけのような町づくりにしていかなくてはと強く思っています。

議員のみなさんと各地区での催しなどに参加し、みなさんの意見を伺う中で、自分たちの町を盛り上げようという意気込みをひしひしと感じています。ご期待に応えるためにも企業誘致を強く進め、働く場を市内に作り、私達の子や孫の代にも住んでよかったと言われる町づくりにしていきたい思いでいっぱいです。

## 今年の抱負

# 有言実行



多久市議会議長  
山本茂雄

## 今年の抱負

私たち議会は市民のみなさんに、より安心安全に生活していただくために、企業誘致・働く場を揃えることや、高齢化社会の中で高齢者と一緒に手を携えていくような施設整備作りと、若い人が育つ環境づくりを行い、多久も頑張っているなと思われるようにしていきます。